

点灯順序

リモコンのボタンを押すことにより、次の点灯順序となります。



壁スイッチコントロール機能 (ワンタッチスイッチ機能) について

壁スイッチですばやく (約2秒以内) OFF → ON することにより次のように点灯順序が切り替わります。



※壁スイッチをOFFにすると、どの点灯状態でも消灯します。

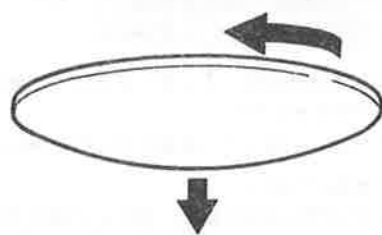
使用上のご注意

- 本器具に添付のリモコン送信機は、当社リモコン照明器具専用です。リモコン式テレビなどには使用できません。また、テレビやビデオのリモコン送信機では、照明器具は作動しません。
- 壁スイッチで電源を切った場合及び停電の場合は、リモコン送信機で操作しても作動しません。壁スイッチON及び停電復帰後は、全灯状態になります。
- 器具の近くでラジオや赤外線リモコン方式の電気機器を使用されると、雑音が入ったり、リモコンを操作しても作動しない場合があります。
- 本器具をご使用中あるいはリモコン送信機で消灯させた状態で停電した場合、停電から復帰したときは全灯状態となります。長期間のお出かけの際には、壁スイッチで電源を切ってください。
- 点灯中や消灯直後、カバー等のプラスチックの伸縮により、「ピシ・ピシ」、「ポッ・ポッ」という摩擦音が生じることがあります。
- ランプが点灯するとき、ランプ管端部が赤く光ることがあります。
- リモコン送信機は器具に向けて操作してください。リモコン送信機の周囲にしゃへい物がある場合、器具が作動しませんので、しゃへい物を取除いて再度ボタンを押してください。
- この器具はリモコンスイッチで消灯してもリモコン部の回路が約1.0Wの電力を消費しておりますので、節電のために長期外出時には壁スイッチを切ってください。

器具のはずしかた

必ず電源を切って本体やランプが冷えてから行ってください。

- カバーの外しかた
カバーを左に回してください。



カバーは無理にはずさないでください。
カバーの割れ、落下によるけがの原因となります。

- ランプの取り付け、取りはずし

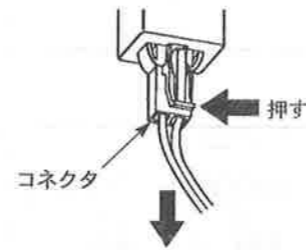
消灯直後は高温になっていますのでご注意ください。

ランプソケットの表示に従ってランプを取り付けてください。

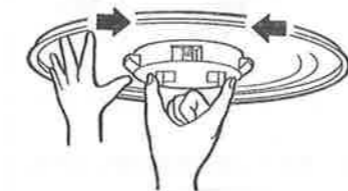
ランプの口金は、多少動くようになっておりますが無理に回さないでください。

ランプ交換の際は、ランプホルダーで強く弾かないでください。

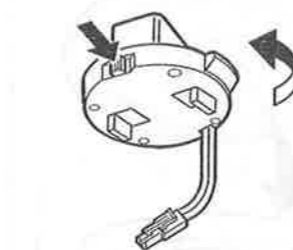
- 電源の外しかた
右図のようにコネクタの矢印部分を押しながらかコネクタを引き抜いてください。



- 本体の外しかた
本体中央部の緑のレバーを矢印方向へ引いてください。



- アダプタの外しかた
アダプタの赤いボタンを押しながらか矢印方向に回してください。



注意

※ボタンを押さずに回すと引掛シーリングが破損します。

NEC 照明器具

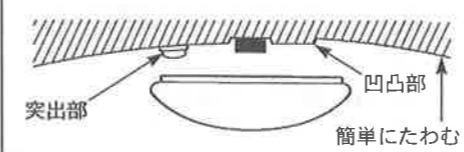
- このたびはNEC照明器具をお買い上げくださりましてありがとうございます。
- 取り付けの前には必ずこの取扱説明書を最後まで読み、正しく施工してください。
- 取付工事が終わりましたら、この説明書は、ご使用になるお客様が保管してください。

保証書添付 保存用 取扱説明書

取り付けできない天井

火災・感電・落下によるけがの原因となります。

火災・感電・落下によるけがの原因となります。

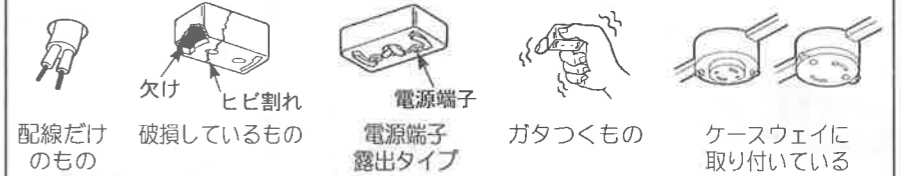


突出部のある天井・凹凸のある天井・簡単にたわむ天井



変形天井・ななめ天井 サオチ天井 格子天井

下図の場合は、電気工事店が販売店にご相談ください。



次の配線器具は、出しろを確認してください。



電気工事は電気工事士の資格が必要です。
工事は必ず電気工事店に依頼してください。

引掛シーリングはベニヤ板などの薄い天井材には取り付けないでください。器具が落下する恐れがあります。

取付上のご注意

壁付調光器のある回路では使用しないでください。

注意

本器具を取り付ける電源回路 (壁スイッチ等) に調光器が接続されている場合、ランプが正常に点灯しなかったり、器具が故障することがあり使用できません。右図のような調光器が接続されている場合は必ず調光器を取り除いてください。(調光器の交換工事は電気工事店に依頼してください。)



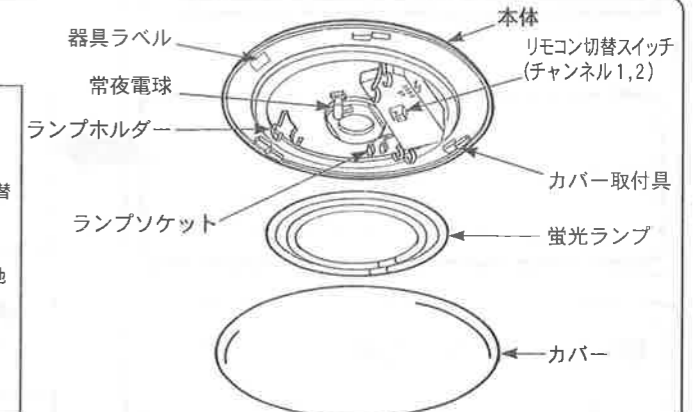
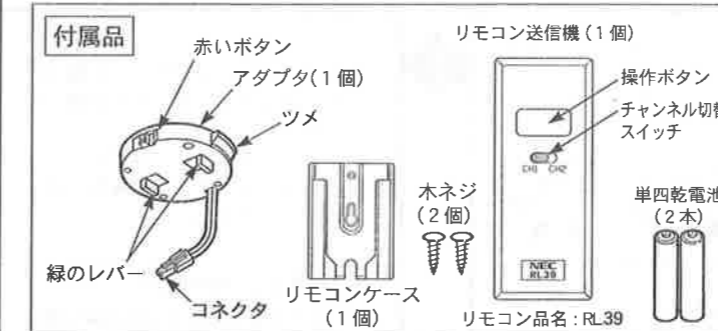
注意



器具裏面についている黒いスポンジ (3コ) は、取り外さずにご使用ください。

各部の名称

この図は一部省略抽象化した共通部品図です。機種によってカバー形状が異なる機種もあります



定格

形 式	使用電圧	周 波 数	消費電力	使用蛍光ランプ	使用常夜電球	始動方法
32形 + 40形 (弊社形式: 8LZ***)	AC100V	50Hz 60Hz	62W	FCL32/30 + FCL40/38	E12なつめ球 (5W)	インバータ式

NECライティング株式会社

東京都品川区大崎1-2-2
〒141-0032 <http://www.nelt.co.jp/>

＜お客様相談室＞
フリーダイヤル 0120-52-3205
受付時間 平日9:00~12:00 13:00~18:00
(土、日、祭日は受け付けておりません)
FAX. 03-5719-8131

※この紙は再生紙を使用しています

器具の取付方法

器具の取り付けを行う際は、感電等の事故防止の為、必ず電源を切って行って下さい。

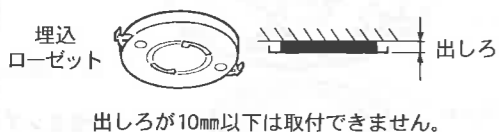
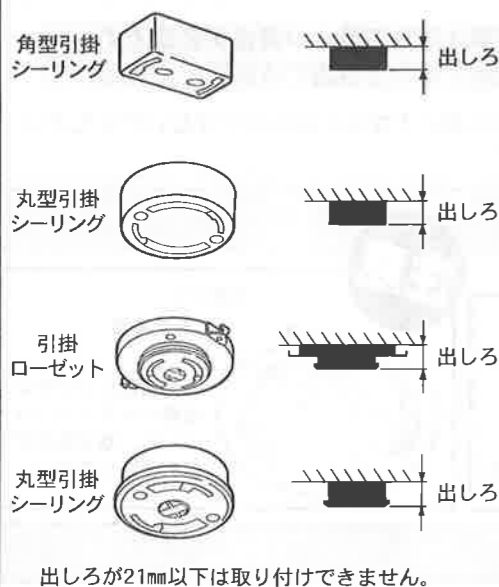
1. 天井の引掛シーリングを確認する

取り付け可能な引掛シーリング

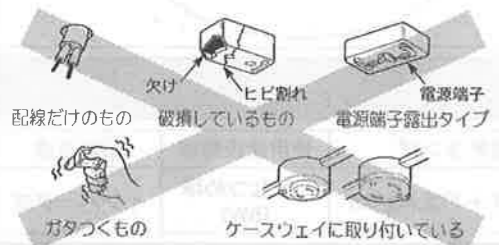
・下図の引掛シーリングであれば取り付け可能です。
(ガタつきや破損がないことを確認して下さい。)

重要ポイント

引掛シーリングの形状によって
取付方法が異なります。



取り付けできない引掛シーリング

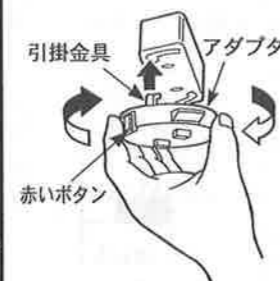


取り付ける際は、必ず上図の取り付け可能な引掛シーリングに交換して下さい。
交換には電気工事士の資格が必要です。
交換工事は必ず電気工事に依頼して下さい。

(引掛シーリングはベニヤ板などの薄い天井には取り付けられないで下さい。器具が落下する恐れがあります。)

2. アダプタを取り付ける

アダプタの引掛金具を引掛シーリングに挿入し矢印方向にカチッと音がするまでまわして下さい。



重要ポイント

取り付け後、赤いボタンを押さずに左に回して、はずれないことを確認して下さい。

警告

落下のおそれあり
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

2. アダプタを取り付ける

アダプタの引掛金具を引掛シーリングに挿入し矢印方向にカチッと音がするまでまわして下さい。



重要ポイント

取り付け後、赤いボタンを押さずに左に回して、はずれないことを確認して下さい。

警告

落下のおそれあり
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

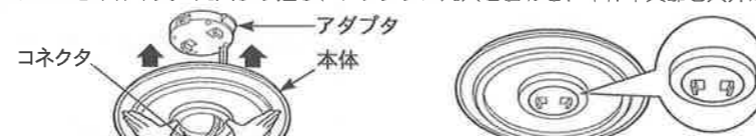
3. 本体を取り付ける

①ランプがランプソケットに確実に差し込まれていることを確認して下さい。
不十分な場合、ランプが点灯しない場合がありますので確実に差し込んでください。



②1段押上げ(仮固定)

コネクタを本体中央の丸穴より通し、アダプタに丸穴を合わせ、本体中央部を天井に押し上げる。

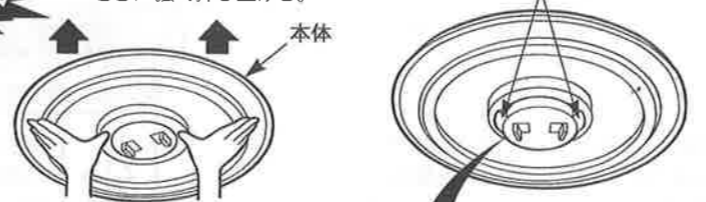


※本体は仮固定の状態ですので、本体はグラついています。

警告 まだ本体の取り付けは不完全です。
この状態のまま使用すると、落下によるけがの原因となります。

重要ポイント

③2段押上げ(取付完了)
さらに強く押し上げる。



要チェック

①本体中央部のアダプタの赤マーク(2ヶ所)が完全に見え、アダプタのツメ(2ヶ所)が完全に出ていることを確認する。
②本体のグラつきがないことを確認する。



これで本体の取り付けは完了です。

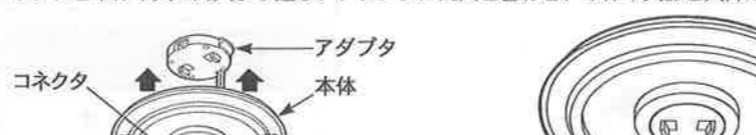
3. 本体を取り付ける

①ランプがランプソケットに確実に差し込まれていることを確認して下さい。
不十分な場合、ランプが点灯しない場合がありますので確実に差し込んでください。



②1段押上げ(取付完了)

コネクタを本体中央の丸穴より通し、アダプタに丸穴を合わせ、本体中央部を天井に押し上げる。



要チェック

①本体中央部のアダプタの赤マーク(2ヶ所)が完全に見えていることを確認する。
②本体のグラつきがないことを確認する。

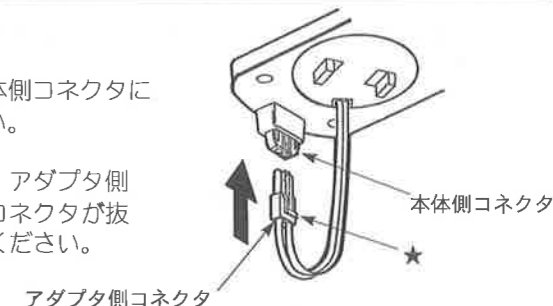


これで本体の取り付けは完了です。

4. 電源を接続する

アダプタ側コネクタを本体側コネクタに確実に差し込んでください。

★の部分を押さえずに、アダプタ側コネクタを引っ張り、コネクタが抜けないことを確認して下さい。



5. チャンネルを設定する

■1台のみ操作する場合

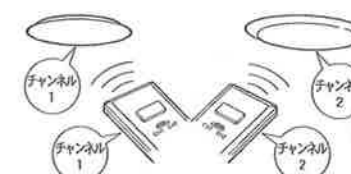
器具本体側のチャンネルとリモコン送信器チャンネルを同じチャンネルに合わせてください。
(出荷時のチャンネルは、器具本体側・リモコン送信器共、チャンネル1に設定しています。)



■2台の器具を別々に操作する場合

(1つのリモコン送信器で2台の器具を別々に操作することができます。)

1台目の器具本体側チャンネルを「1」、もう1台の器具本体側のチャンネルを「2」に合わせてください。
リモコン送信器のチャンネルを操作したい方の器具のチャンネルに合わせて、器具を操作して下さい。



6. カバーを取り付ける

重要ポイント

本体の警告印(△)にカバーの警告印(△)を合わせカバーを持ち上げパチンと音がするまでカバーを右にまわして下さい。



カバー取り付け時に本体が回転してしまう場合は、本体の取り付け(押し上げ)が不十分です。

「3. 本体を取り付ける」に従って、本体の取り付け(押し上げ)を確認して下さい。

警告

落下のおそれあり
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

7. リモコン送信機に乾電池を入れる

カバーを軽く押しながら手前に引いて外して下さい。
乾電池の極性⊕⊖を間違えないように入れて、カバーを閉めてください。

リモコン送信機の平均電池寿命は、1日10回使用した場合、約6ヶ月です。
電池交換の際は、必ず2本とも交換して下さい。(使用電池は単四形)



注意

カバーを閉めるときは、カバーのツメがリモコン送信機に引掛かる場合がありますので、注意して下さい。



リモコンケースを壁等に取り付ける場合

リモコンケースをネジで取り付けして下さい。
(2ヶ所)

